



第13回科学の甲子園全国大会に出場！

3月15日（金）～18日（月）、「第13回科学の甲子園全国大会」が茨城県つくば市のつくば国際会議場、つくばカピオで開催され、本校から2年生環境科学科のチーム「Σはおもちゃです。」（木村匠汰さん、大井一潤さん、鷹野祥希さん、森田悠希さん、東出悠希さん、花岡翼さん、山木大馳さん、山崎煌雅さん）が出場しました。向陽高校が本大会に出場するのは平成31年度以来、2度目となります。

科学の甲子園は、高等学校等の生徒チームを対象として、理科・数学・情報における複数分野の協議を行う取組です。国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が平成23年度より創設し、全国の科学好きな高校生が集い、競い合い、活躍できる場となっております。また、このような場を通して、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目指しています。筆記競技では、理科・数学・情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で、教科・科目の枠を超えた融合的な問題が出題される可能性もあります。実技競技では、ものづくり能力、コミュニケーション能力などを用いて課題解決能力を競います。

1日目は開会式、オリエンテーション、筆記競技、アイスブレイクが行われました。筆記競技は理科・数学・情報分野から出題され、6名で120分間行います。2日目は実技競技①～③が行われました。①は「地学」で3名100分間、②は「化学」で4名100分間、③は「総合」で4名170分間の競技となっています。実際の競技はここまでです。3日目はエクスカッション（遊覧・視察旅行）があり、本校生徒は筑波山ゲートパークとつくばエキスポセンターを訪問しました。その後、表彰式、協賛企業によるブース展示、フェアウェルパーティが行われました。フェアウェルパーティでは食事をしながら、全国各校の生徒が交流する機会でも、本校生徒も良い刺激を受けていました。来年度もぜひ和歌山県予選を勝ち上がり、全国大会に出場してほしいと思います。



今年度のSSHニュースは54号で最終号となります。今年度から第Ⅳ期が始動し、「**紀の国和歌山から科学の大輪の花を咲かせるハイレベル科学技術系人材の育成**」をテーマに、SSH活動に取り組んできました。皆さんの中に「**主体性**」や「**科学コミュニケーション力**」の芽は育ちましたか？

1年間のSSH活動で身につけた力を、これからの学びに活かしてください！来年度も皆さんの活躍に期待します！